気をつけよう！ 死亡事故多発

菊川署管内では、重大事故の連続発生を受け、御前崎市、菊川市において、「交通事故多発警報」が発令されました。

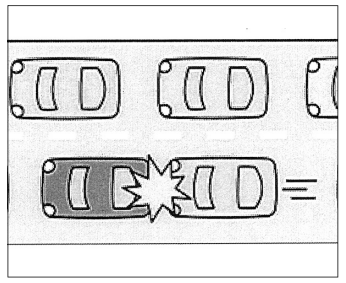
事業所が一体となり交通事故防止を図り、従業員の皆さんの家族にも交通安全を訴えていかなくてはなりません。

職員の皆さんも安全運転に対する心がけの強化をよろしくお願いします。

また、県内の死亡事故の多くは高齢者が犠牲になっております。報道などでもよく取り上げられますが、高齢者の歩行中の交通違反で多いのは、「自動車の直前直後の横断」「横断歩道以外の横断」「斜め横断」「信号無視」などです。左右確認をせずに道路を横断することにより被害にあっているようですので、視界の悪い場所や、死角のある道路では、出来るだけ徐行するなどして、気をつける様にして下さい。

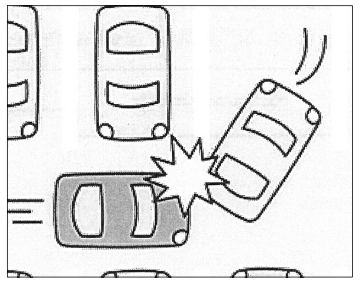
自動車事故の主な三原因と対策

①追突事故を防止するために



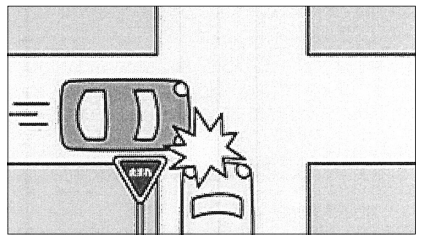
【原因】
脇見運転・動静不注視
【対策】
・前の車の不意な減速・停止を予測しながら運転
・低速で走行中でもしっかり集中

②バック時の事故を防止するために

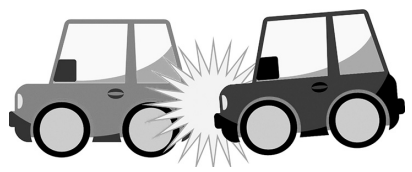


【原因】
安全不確認等
【対策】
・ミラー等だけに頼らず目視で安全確認
・ゆっくりと歩くくらいの速度でバック

③出会い頭事故を防止するために



【原因】
安全不確認・一時停止
【対策】
・一時停止の標識の場合は完全に車輪を止めて左右の安全確認
・住宅街等では自転車・歩行者の飛び出しにも注意



ホームページアドレス
http://www.masudagumi1912.co.jp
カタログパーク http://www.hamaoka.or.jp/masuda.html

安全週間 準備月間

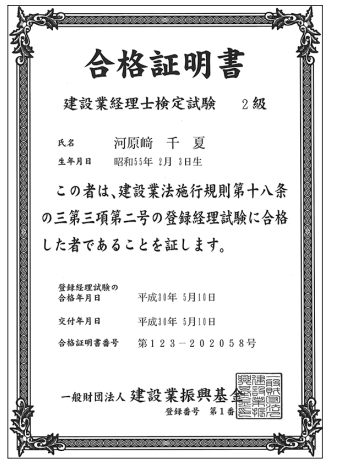
【準備月間】
6月1日～6月30日
【安全週間】
7月1日～7日

今年で九十一回目となる全国安全週間は職場での安全に対する意識を高め、安全を維持する活動の定着を目的としています。

全産業における労働災害は長い期間で減少傾向にありましたが、昨年度は残念ながら死亡災害が三年ぶり、死傷災害は二年連続増加となりました。無災害は個人の意識も重要ですが、職場全体で取り組むことが重要です。お互いに声を掛け合い労働災害防止に取り組みましょう。

合格おめでとう！

建設業経理士検定二級
河原﨑 千夏



合格証明書
建設業経理士検定試験 2級
氏名 河原﨑 千夏
生年月日 昭和15年1月1日生
この者は、建設業法施行規則第十八条の三第三項第二号の登録経理試験に合格した者であることを証します。
登録経理試験の合格年月日 平成11年1月11日
交付年月日 平成11年1月11日
合格証明書番号 第123－202058号
一般財団法人 建設業振興基金
登録番号 第1番

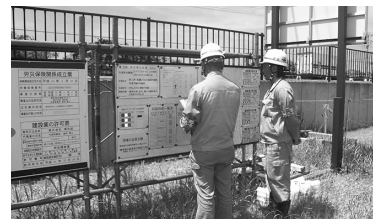
表彰

静岡県警察本部長
安全運転管理協会長表彰
山下 茂俊

表彰状
山下 茂俊 様
あなたは安全運転管理者選任事業所の職員として強い責任感をもって安全運転に心がけ職場における交通事故防止に貢献されましたここに優良運転者として表彰します
平成三十年五月八日
静岡県警察本部長 筋 伊知朗
一般社団法人静岡県安全運転管理協会会長 中山 永好

安全パトロール

五月十一日に安全パトロールを実施しました。国道一五〇号線の工事では現在、中央分離帯の施工も予定されています。工事エリアへの移動や、搬入出には十分注意してください。その他の工事も安全作業でお願いします。



6月安全努力目標

年度安全標語《ヒヤリで良かったこの体験 次に生かそう危険予知》
平成30年度全国安全週間準備期間《6/1～6/30》

作業安全
・作業前の地山点検を確実に
・熱中症予防対策の実施
交通安全
・適正なスピードと車間距離の確保
環境目標
・管理車両の無駄な走行は控えましょう

行事記録（4/27～5/26）

5/7 掛川法人会御前崎支部総会大会
5/8 静岡県安全運転管理協会優良運転者表彰式・静岡
5/9 御前崎市建設業組合総会
掛川社会保険協会理事会・評議員会・掛川
5/10 御前崎市建設業組合役員会
御前崎市交通事故多発警報発令
5/5～5/18 御前崎シーサイドピクニック慰労会
5/11 静岡県の入札・契約制度等説明会・浜松
技士会袋井地区第三回代議員会・袋井
5/12 御前崎市地域医療を育む会総会
5/15 掛川・菊川・御前崎企業求人説明会・掛川
5/16 御前崎市商工会通常総会
5/17 中部電力静岡土建安全協議会定時総会・静岡
5/18 磐田労働基準協会定時総会・磐田
袋井建設業協会定時総会・袋井
袋井地区建設事業協同組合通常総会・袋井
建災防静岡県支部袋井分会通常総会・袋井
中電不動産安全衛生協議会浜岡地区総会
静岡県土木施工管理技士会通常総会・袋井
5/18～5/19 静岡県若手建設経営者の会視察研修・群馬
5/19 中電不動産安全衛生協議会浜岡地区親睦ゴルフ大会
5/22 新規学卒求人取扱説明会・掛川
警察官友の会菊川支部役員会・菊川
5/23 菊川地区安全運転管理協会通常総会・菊川

行事予定（5/27～6/26）

5/30 シーテック安全衛生協議会
シーテック浜岡協力会総会
6/1～6/2 なぬ等整備事業 用排水整備 倉地区完工式・御前崎
6/2 袋井建設業協会会員研修・三重

減熱創決
発行 増田組
TEL 〇五三七－八六－三二四五
FAX 〇五三七－八六－六七五
Email masudagumi1@mail.wbs.ne.jp
URL http://www.masudagumi1912.co.jp

平成二十九年五月から九月の全国における熱中症による救急搬送人員数の累計は、五万二千九百八十四人でした。前年の同期間と比べると二千五百七十二人増となっています。

◇年齢区分別にみると、高齢者が最も多く、次いで成人、少年、乳幼児、新生児の順となっています。

◇初診時における傷病程度別にみると、軽症（外来診察）が最も多く、次いで中等症（入院診察）、重症（長期入院）、死亡の順となっています。

◇発生場所ごとの項目別にみると、住居が最も多く、次いで公衆（屋外）、道路、仕事場（道路工事現場、工場、作業所等）の順となっています。

◇都道府県別人口十万人当たりの救急搬送人員数は、沖縄県が最も多く、次いで鹿児島県、宮崎県、熊本県、佐賀県の順でした。

ここでは、熱中症にならないための予防策をご紹介します。

❶作業環境を冷やす…直射日光を防ぐテント、風通しを良くする送風機、冷たい風で気温を冷やす冷風機などを活用する。

また、作業場が高温多湿である時は、作業場の近くに冷房を備えた涼しい休憩場所を設けるなど、休憩所の整備も大切となる。

❷カラダを冷やす…透湿性、通気性の良い服装を着用することはもちろんですが、加えて冷却効果のあるファン付き作業着やベスト等を使用することも有効です。

❸摂る…人は汗をかくことで体温を下げます。汗をかくほど汗の材料となる水分と塩分・電解質が失われて、熱中症のリスクが高まります。作業前から、そして作業中は定期的に水分と塩分を摂り続けることが重要です。

ユニフォームの背面部に装着されたファンにより外気を吸い込んで、衣服内に通過させることで汗を蒸発させ、その気化熱で涼しくさせることのできる優れもの。熱中症対策に是非！

空気の流れのイメージ

静岡県若手建設経営者の会 視察研修
▼五月十八日～五月十九日

五月十八日、十九日の二日間、静岡県若手建設経営者の会の視察研修に行ってきました。初めての参加でしたが天気にも恵まれ有意義な時間を過ごすことが出来ました。

初日は、日本キャタピラーD－TECH Centerにて建設機械のデモンストレーションなどを体感しました。その後、太平洋セメント熊谷工場を見学しました。

セメント工場では、ゼロエミッションの推進という事で、廃プラや廃タイヤなども活用してセメントを作っていることが分かりました。二日目は川越を観光し帰路につきました。

津軽

文　末武篤子
写真　菅原正

津軽地方の風習

津軽地域には、「津軽一代様」という独特の風習があります。「一代様」とは、干支の守り本尊を表し、また干支の守り本尊を祀っている代表的な神社や、お寺のことも一代様と言います。江戸の藩政時代より、自分の生まれた年の干支を守り神として信仰してきたのです。

例えば、未年生まれの私は「大日如来」なので、大鰐町にある大円寺の大日様を参拝する、という具合です。新年や人生の節目（結婚、出産、入学、厄除け）などには、現在でも参拝祈願をする方がいらっしゃいます。家族での初詣は、檀家のお寺や教会に行きますが、その後に自分の一代様を参拝するのです。

岩木山の麓にある岩木山神社は、昔から多くの人々が参拝し祈願する神社として有名です。創建は七百八十年で、江戸時代に再建された社殿は、重厚壮麗で「奥の日光」とも呼ばれ、その美しさは今も昔も変わらず津軽の誇りです。

岩木山神社

毎年、旧暦の八月一日にはお山参詣という山頂へ登拝する秋の伝統行事があります。一説には鎌倉時代初期に始まったとされ、江戸時代中期には現在のような形式になったといわれています。

国の重要無形民俗文化財に指定されたお山参詣は、向山、宵山、朔日山と三日間行われます。初日の向山では、岩木山神社へ多くの人たちが参道を上ってお参りします。二日目の宵山では、大勢の参拝客が色鮮やかな幟や御幣を揚げ、村内町内を練り歩きます。全員白装束に身を包み、登山囃子が響く中「サイギ、サイギ」の掛け声と共に岩木山神社を目指します。三日目は、旧暦の八月一日の朔日山。参拝者は山頂を目指し未明に出発します。山頂付近での御来光に一同手を合わせ、お山に感謝し五穀豊穣や家内安全を祈願するのです。

津軽の短い夏の愉しみの一つに、氏神様大祭前夜祭の宵宮があります。津軽地方ではヨミヤと呼び、露店や花火などを楽しみます。六月から八月の期間、昼過ぎから夕方にかけて「ドーン、ドーン」と、ヨミヤ開催を知らせる花火が上がります。弘前市の場合、ヨミヤ開催の数がとんでもなく多い！弘前市内だけでも、八十ヶ所の神社仏閣で大祭があるので、連日のように花火があがるのです。参道に並ぶ露店は多いところでは百を超える店が出ます。金魚すくいやクジ引き、綿あめ、焼きそばなどの店が軒を並べます。子供達はお小遣いを握りしめてアレコレ見て回ります。近所の家では、檀家と全く関係なく親戚が集まりお正月のような宴会をして短い夏の夜を愉しむのです。

五所川原市金木町の川倉地蔵尊

メールをいただきました

社内報「風紋」の読者の方から今回の投稿シリーズ「津軽」に対しメールをいただきました。

> 一年間掲載される【津軽】を大変興味深く拝読しています。
> 文章と写真が素晴らしく、風景が浮かんできます。
> とても感動したのでメールしました。

今回、投稿いただいております、末武さんと写真提供していただいています菅原さんには、当社としても素晴らしい文章、素敵なお写真を提供いただき、感謝申し上げます。まだ、来年の三月号までご投稿いただく予定ですので、皆様楽しみにしていただきたいと思います。